



「五感」で 城下町 まち歩き × ワークショップ VOL.2

竹田の「城下町」、どうしたい??

城下町の風情が色濃く残る中心市街地エリア・・・

これまで、住民と行政で続けられてきた街並みを残す取組みを、今後、どのように、現在の情勢に合わせていくのか。何を守り、何を変化させつつ次の世代にどのような街を残していくのか。

まずは五感を研ぎ澄まして、わたしたちの街を見つめなおしてみましょう。

今回は、聴覚を働かせて「水の音」から城下町を観察します。

日時

令和5年12月15月(金) 13:30-16:30 (受付13:00-)

※少雨決行(中止する場合は、当日の午前9時までに参加者にご連絡、ホームページでお知らせします)

会場

竹田市城下町交流プラザ 多目的ホール

竹田市大字竹田町487番地1 ☎0974-63-0808

対象

竹田市民 (城下町エリアにお住まいの方、事業を営まれている方など)

城下町エリアに関心がある方、大歓迎

当日スケジュール

- 13:30 開会 事業説明
- 13:50 まち歩き <60分>
- 14:50 休憩 <10分>
- 15:00 意見交換・全体発表<90分>
- 16:30 閉会

定員

20名

(定員を超えた場合は、抽選とさせていただきます。)

参加料

無料

※履き慣れた靴をご準備ください。

◆「五感」でまち歩き×ワークショップって、何するの???

グループごとに、城下町に流れる水の音を探しながら「水路」「井戸」など水に関係するスポットの他、「水を感じる風景」などを見つけていただきます。その後、カメラで撮影した写真と、それぞれの感想、意見を紹介していただきます。

◆城下町の背景

岡城跡を核にした本市の城下町地区は、江戸時代に岡藩中川家の城下町として栄えました。明治10年（1877年）の西南の役、昭和22年（1974年）の昭和の大火で中心部は焼失しましたが、周辺部の武家屋敷通りや寺院群は大火を逃れ、中心部においても土蔵造りの建物は残りました。現在、西南の役以降の建物と江戸期の町割りが残り、周囲の岩肌などの自然景観と調和した城下町としての情緒が色濃く味わうことができるエリアとなっています。

背景には、昭和54年に、史跡等環境保存条例を制定し、城下町独自の建物の建築基準を定めるとともに、平成9年には「歴史的街なみ景観形成事業（修景事業）」が創設され、官民連携により歴史的な街なみを残していく取組みが進められました。

一方で、人口減少、高齢化などを背景に、空き家、空き店舗、空き地、駐車場が目立ち始め、土堀や町家で形成される町並みの連続性が損なわれつつあります。



ファシリテーター **姫野由香氏**
(大分大学 理工学部 創生工学科 准教授)

景観、観光、まちづくり、中心市街地再生、離島振興など幅広い分野で活躍されています。建築・都市計画技術を応用した地域の創生を目標に、「景観マネジメント」、「観光政策」、「市街地再生」、「離島・中山間地域の持続可能性」をテーマにした研究に取り組まれています。本市においても、竹田市総合計画策定委員、竹田市文化財保存活用地域計画策定委員、竹田市景観審議会委員などを歴任されています。

【お申込み】

参加を希望される方は、**12月8日（金）**までに、
竹田市役所建設課 都市計画係へご連絡ください。

【お申込み・お問合せ】

竹田市役所 建設課 都市計画係

TEL：0974-63-4848

FAX：0974-63-3948

E-Mail：toshi-design@city.taketa.lg.jp